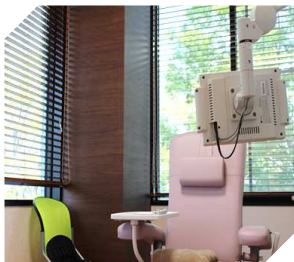


日高病院 リウマチ科のご紹介

主に関節や筋肉のこりや痛みを訴える疾患をリウマチ性疾患と言います。主にリウマチ性疾患を診療する科がリウマチ科です。当院は新専門医制度内科基幹病院で、そのsubspeciality科になっています、これらの病気の中には、肺、腎臓、動脈硬化などの全身の臓器の合併を起こしやすい病気があり、総合的・全身的に診療することが必要です。主な病名は、関節リウマチ、いわゆる膠原病、痛風などです。関節リウマチは、治療が大変進歩して、現在、生物学的製剤（化学療法）やJAK阻害薬などにより寛解（治ったような状態）になる患者様が増えています。日高病院には常勤の専門スタッフがいる外来化学療法センターがあります。生物学的製剤の点滴注射や皮下注射を行っています。また関節手術も対応可能です。日高病院および平成日高クリニックに「日本リウマチ学会」の専門医がいます。日高病院または平成日高クリニックで、いずれかまたは同日で、月曜日から土曜日まで毎日専門医が外来をしています。

リウマチの生物学的製剤（化学療法）の点滴を行う方は日高病院化学療法センターで治療を行います。化学療法センターは2階に位置し半個室プライベートが保たれたお部屋でリクライニングチェアかベッドを選んで頂き点滴を行います。治療時は化学療法センターの専属の看護師がおりますので安心・安全な治療環境になっております。



2021年6月20日(日)読売新聞に掲載されました。
群馬県内でトップクラスの診療実績です。

(第3種郵便物認可)

2021年(令和3年)6月20日(日曜日)

病院の実力「関節リウマチ」 医療機関別2019年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	新規・再診患者(人)	生物学的製剤などを使用(人)	関節手術(件)	専門医(人)
群馬				
群馬大	332	182	0	10※
日高	300	200	2	1
渋川中央	164	15	0	3
前橋赤十字	152	57	2	1
済生会前橋	151	7	2	2
栃木				
自治医大	2925	429	8	9
独協医大	1980	773	33	5
埼玉				
埼玉医大	1390	172	42	16
自治医大さいたま医療セ	1184	180	0	2
埼玉協同	894	15	29	2
東大宮メディカルセ	646	55	0	1
関越	502	64	3	1
新座志木中央総合	493	102	24	4
さいたま赤十字	300	90	15	1
埼玉医大総合医療セ	208	162	2	0
草加市立	199	101	9	1
防衛医大	111	28	17	4
独協医大埼玉医療セ	1	0	0	2

「セ」はセンター。※整形外科除く

全国の調査結果は16日の「安心の設計面」に掲載しました。

病院の実力

～群馬編 157

今回は関節リウマチを取り上げる。
関節で炎症が起き、放置する

関節リウマチ

早期治療で変形防ぐ

と軟骨や骨の変形が進む病気だ。免疫機能の異常で起きるとされるが、原因はわかっていない。手足をはじめ、全身の関節に腫れや痛みが生じるほか、発熱や倦怠感なども出る。患者は

推計約82万人で、女性が4分の3を占める。発症のピークは60～70歳代だ。

治療の基本は、抗リウマチ薬の服用。早期に治療を始めれば、関節の変形を抑えやすい。生涯

つき合う病気、治療は長期に及ぶ。一覧表には、2019年の新規・再診患者数などを示した。

抗リウマチ薬だけで症状が治まらない場合は、より効果が強い「生物学的製剤」を使う。注射や点滴で投与する。近年は、同等の効果が期待できる飲み薬の「JAK阻害薬」も選択肢になっている。

関節の変形が進行し、生活に支障が出る場合は、金属製の人工関節に置き換えたり、骨を切るなどして形を整えたりする「手術」が行われる。

選択肢が多いだけに治療を検討する際は、経験豊富な日本リウマチ学会の専門医に相談したい。表には、各医療機関の「専門医」の人数も掲載した。